



BLSO in 奄美

【概要・背景】

昨今の周産期医療の崩壊に伴い、分娩施設や産科スタッフの減少は危機的な状況にあり、特に奄美群島などのへき地・離島地域の状況は深刻である。さらに群島内では豪雨災害などによる道路の寸断なども頻発しており、今後、産科医や助産師以外の医療スタッフ、地域消防隊や医療機関の人員が分娩を含む産科救急に対応せざるを得ない状況が多くなると予想される。実際、全国消防本部に対するアンケート調査(隠岐病院加藤一朗医師による調査)では、2010年の1年間には734件の病院前分娩事例が存在した。日常的に周産期領域に携わる医療従事者に対するAdvance Life Support in Obstetrics (ALSO)に対し、ここ数年、主に病院前産科救急を想定して、ALSOの前段階の産科救急基礎コースとも言えるトレーニングコースが、世界中で実験的におこなわれるようになった。

「産科救急に遭遇する可能性があるプロバイダー全てが標準化されたコースを学び、救急 救命士から救急部スタッフ、産科医へと連携をとることで妊産婦死亡・後遺症を減らすことができるのではないか」という観点に立ち、周産期のより切迫した内容へ対応するため に基本的なトレーニングコースとして作成されたのがBasic Life Support in Obstetrics (BLSO)である。

コースの内容は、妊婦の評価・分娩介助・新生児蘇生・救急車内分娩・産後大出血であり、BLSOコースを受講し、試験に合格した場合、参加者は米国家庭医療学会とALSO-Japanが認定する5年間有効な認証を受ける事ができる。

開催日時：H24年12月1日(土曜日)

9時00分～17時30分

開催場所：名瀬徳洲会病院

受講対象：救急隊員、看護師、医師

受講料：12,000円

受講定員：約18名

【講習スケジュール(予定)】

講習内容	時間
受付	9:00-9:30(30分)
イントロ・妊婦の評価	9:30-10:30(60分)
分娩介助	10:40-11:40(60分)
新生児蘇生	11:50-12:50(60分)
昼食	12:50-13:30(40分)
救急車内分娩	13:30-14:00(30分)
産後大出血・妊婦蘇生	14:00-15:00(60分)
シナリオ・手技実習	15:10-16:10(60分)
筆記試験＋実技試験	16:30-17:30(60分)

テキスト:教育提供サイトからダウンロード
 購入推薦図書:『日本版救急蘇生ガイドライン2010に
 基づく新生児蘇生法テキスト』
 田村正徳(監修)メジカルビュー社

【申し込み・連絡先】

名瀬徳洲会病院産婦人科
 小田切幸平

電話:0997(54)2222

Email:koheiodg@yahoo.co.jp

Emailでお申し込み下さい。

記入事項

- ①氏名(ふりがな)
- ②所属機関・役職
- ③住所/電話番号/メールアドレス

